

## 令和5年度 2学期終業式 校長式辞要旨

・パレスチナ暫定自治区を実効支配するハマスが10月7日にイスラエルを攻撃したことに端を発する紛争は依然おさまる気配が見えない。昨年2月にはじまったロシアとウクライナの戦争も終わりが見えない状況である。

国際科を設置する学校の一員として我々は国際情勢に敏感でなければならない。わが国ができること、個人ができることをよく考えて欲しい。

・11月13日から試行的に私服での登校を認めてきたが、大きな混乱もなかった。来年度からどうするのかを含め引き続き議論していくので、生徒諸君の活発な意見を期待する。また、生徒会からは校内での昼休みのスマホ使用について認めていくよう意見が出され、校内で討議されている。引き続き活発に議論してほしい。

・年の瀬を迎えるにあたって、この1年間を振り返り、新たな気持ちで穏やかに新年を迎えてほしい。3学期からの諸君の活躍を期待する。